

ヴァレーージュ便り

Vol.33

令和6年

12月号

編集長:大橋 編集:松沢



11月の行事

食事イベントとして『寄せ鍋』を職員が手作りました。鶏だんごや栄養満点なお野菜をたっぷり入れた、熱々鍋を入所者様の食べやすい形にカットし提供しました。旬野菜の白菜やきのこを、召し上がっていただき季節を感じていただきました





避難訓練

地震想定避難訓練を行いました。地震・水害・火事など様々な自然災害は、いつ起こるかわかりません。いつ何が起こるか予測不可能な事態に備えて、備蓄品の確認や停電時に日用品で作れる懐中電灯や簡易トイレを作ってみました。



ヴィレージュでは、水害・地震・火事に備えた訓練を、それぞれ年に1回実施しています。食事や水分などの備蓄品は、3日間分備えてあります。不測の事態に備え、ご家族の皆様も定期的に備蓄品の確認や避難集合場所の確認などしておくとう安心ですね！

特別養護老人ホームという施設の特徴の一つである『入所期限は設けない』に関する内容を入所申し込みあるいは、施設入所時に聞き覚えがある方が多いと思います。特別養護老人ホームは、『最期の時をお迎えできる施設』でもあります。いつ・どのタイミングで訪れるかわからない『最期の時』のために、ヴィレージュでは看取りケア研修を行っております。ご家族にとって大切な方の大切な時間を充実した時間として、どんなケアができるか全職員で考え、私たちには何ができるのか話し合い、共通認識として『ヴィレージュで良かった』とさせていただけるような施設環境づくりを、これからも行っていこうと思っております



看取り ケア研修



《編集後記》

2024年も、あと少しで終わってしまいます。ご家族の皆様には、今年も大変お世話になりました。日頃より、施設へのご理解とご協力をいただきまして大変ありがたく思っております。来年も、皆様のご大切な方の日常生活のお手伝いや日常での楽しみの提供をケアの根源として、行ってまいります。今後も、施設へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



良いお年を
お迎え下さい

持養統括主任
生活相談員
ケアマネジャー

大橋
松沢
赤坂